

校庭の排水対策が急務

総務・経済建設両委員会は、9月17日、学校調査（校舎・体育施設等）の実態調査を実施し、委員長報告がありましたので、その概要を報告します。

学校調査

校舎・体育施設等の実態



グラウンドの排水処理を調査中の各委員（鶴田小）

各学校の課題・問題点としては、校舎の全面塗装（雨漏り対策）、校庭の整備、更衣室の設置、プールの改装等々、大規模なものから小規模なものまで、紫尾小学校8件、柏原小学校7件、鶴田小学校6件、鶴田中学校9件が提起された。

両委員会としては、これらの全ての件数が、教育環境の整備充実を図る上で必要不可欠なものかどうか実態調査を踏まえ、委員の意見集約を行った結果、

委員会連合調査

学校ごとには次のとおり
の意見が出された。
①鶴田中学校 堆肥・腐葉土の屋根付き保管場所の設置について
は、今回の台風でビニールハウスが被災しており、花づくり等、学校緑化活動に必要と思われる。

②鶴田小学校 校庭（トラック部分）に段差等があり、水はけが悪いので排水対策が必要と思われる。校舎の外壁（板壁）部分に腐食しやすい箇所があるので、腐食が進行しないうちに外壁塗装をする必要があると思われる。
③柏原小学校 校舎2階のトイレは、主に高学年の児童が使用しているトイレであるが、男女同室で間仕切りがなく支障が出ている状況であるので、構造的にも改修ができるか検討する必要があると思われる。
④紫尾小学校 プール更衣室横のトイレが使用不能の状態であるので、改修する必要があると思われる。校庭（トラック部分）の排水が悪く、長時間使用不能の状態が続く状況であるので、排水対策が必要と思われる。体育館の暗幕が取り付けられていないく、各種学校行

事に支障をきたしている
ので、設置が必要と思われる。
以上のとおりである
が、特に、校庭（トラック部分）の排水対策（鶴田小、紫尾小）、柏原小の校舎2階のトイレ改修及び各学校共通事項である更衣室（男女別）の整備については、早急な整備に向けて検討する必要性があるとのことであった。
また、校舎の全面塗装等、年次的に対策をとる必要性がある事項については、主管課においても適宜学校現場の状況を把握し、財政的な裏付けを取りながら計画的に進めるべきであると思われる。
さらに、教室内のストープ・扇風機の設置、職員室のクーラー設置等、軽微な事項の取り扱いについては、学校現場の日常的な教育環境の改善対策でもあるので、主管課、学校現場と、その改善対策等について協議を重ねていくことが必要と思われる。

後編集

1カ月に3回もの台風の襲来で収穫目前の水稲に倒伏等の被害が発生し、収量の減少や品質の低下が予想され農家にとっては厳しい収穫の秋となりました。被害を受けられた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。
新町発足まで5カ月余りとなった合併は、県議会においてさつま町の廃置分合議案が議決され、合併に向かって細部の協議が続ぎ、新しい町の形も見えてきました。

ご意見等ありましたら議会事務局までお知らせください。

- 平成16年10月
- 発行責任者 東 哲雄
- 編集委員長 宮之脇金次郎
- 副委員長 四位芳彦
- 編集委員 高嶺実樹雄
- 編集委員 川口憲男
- 編集委員 下大迫幸太郎
- 編集委員 中尾正男